

CASBEE神戸ver.3

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3

使用評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相鉄フレックスイン神戸三宮 新	階数	地上14F 地下1F
建設地	兵庫県神戸市中央区旭通5丁目325	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	270 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	飲食店、ホテル、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年6月 予定	評価の実施日	2017年12月7日
敷地面積	896 m ²	作成者	大和ハウス工業株式会社 流通一級建築士事
建築面積	494 m ²	確認日	
延床面積	5,653 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9

環境品質 G (39) vs 環境負荷 L (45)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100%
②建築物の取組み: 74%
③上記+②以外の: 74%
④上記+: 74%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 2
LR2 資源・マテリアル: 2
LR3 敷地外環境: 2

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 CASBEE神戸の重要項目		
バリアフリー計画 Q-2/1.1.3 バリアフリー計画 3.0 配慮の概要 移動円滑化基準を満たす計画とした。	建築物の耐震性等 Q-2/2.1 耐震・免震・制震・制振 3.0 Q-2/2.4 信頼性 2.4 配慮の概要 建築基準法に定められた耐震性を有した。	まちなみ・景観への配慮 Q-3/2. まちなみ・景観への配慮 3.0 配慮の概要 周辺のまちなみや景観に対して標準的な対策を行った。
その他の配慮事項		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される